

菅生で

お江戸を感じて

日時 5月27日（

6月24日（火）

全5回 午後2時～4時

対象・定員 概ね50歳以上で

関心のある方20人

場所 菅生分館ほか

参加料 無料

申込み 5月15日（木）

午前10時から

電話または来館（先着順）

申込み・問合せ 菅生分館

電話 〇四四・九七七・四七八一

ファックス 〇四四・九七六・三四五〇

住所 〒二一六・〇〇一五

川崎市宮前区菅生五・四・一



HPはこちら



江戸時代は、魅力的な文化や生活様式が発展した時代であり、今でも日本らしさとして、その多くが受け継がれています。この時代の魅力を、菅生の歴史とあわせて学びませんか。

※申込みの際の個人情報、個人情報は、個人情報の保護に関する法律等に基づき、事業執行の目的に限り使用します。なお、個人情報は適切に取扱います。

主催…川崎市教育委員会
実施機関…菅生分館

講座内容（全5回連続講座）※すべて火曜日

第1回 5月27日 庶民の暮らし

江戸時代の菅生地区の人々はどんな生活をしていたのでしょうか。

講師：市民ミュージアム学芸員 谷 拓馬氏



第2回 6月3日 杉田玄白と医学

菅生ゆかりの杉田玄白と医学について学びます。菅生分館で講義を受けた後、杉田玄白の先祖が眠る「長安寺」見学に行きます。(徒歩5分程度)

講師：江戸文化歴史研究家 須藤 千恵子氏

第3回 6月10日 古文書入門

古文書解読の体験。地域で保管されていた古文書から歴史を紐解く魅力にふれます。

講師：みやまえ江戸古文書を読む会 会長 栗根 よりみ氏



第4回 6月17日 菅生にもあった 新田開発

徳川吉宗の新田開発の様子と耕作農民について学びます。開発された新田は現在どうなったのでしょうか。

講師：宮前区観光ガイドの会 会長 小川 清氏



第5回 6月24日 菅生を冠した郷・村・地区/振り返り

菅生村の変遷。地名の移り変わりとその背景について学びます。

講師：郷土史家 杉田 壘生氏

菅生分館案内図



ぞうしき

「蔵敷」バス停下車徒歩1～3分

※公共交通機関のご利用をお願いします。

◆宮前平駅（東急田園都市線）から【市営バス】

生01 生田駅行

宮05 聖マリアンナ医科大学前行

◆武蔵溝ノ口駅（JR南武線）・溝の口駅（東急田園都市線）から【市営バス】

溝11 新百合丘駅前行

溝17 菅生車庫行

溝16 聖マリアンナ医科大学前行

溝18 鷺ヶ峰営業所前行、聖マリアンナ医科大学前行

◆登戸駅（JR南武線・小田急線）から【市営バス】

登05 菅生車庫行、鷺ヶ峰営業所前行、宮前区役所前行